# 第 46 回おびひろ動物園　動物画写生コンクール　開催概要

▶日　時／2022 年 6 月 18 日（土）9 時～13 時（雨天の場合は 6 月 19 日（日）に順延）
▶場　所／おびひろ動物園内（帯広市緑ヶ丘 2）
▶入場料・参加料／無料
※ 保護者・同伴者は有料
※ 画用紙は主催者側で用意します
※ 画材（絵の具・クレヨンなど）と画板は各自で持参してください

▶入賞作品展示会（予定）／7 月 7 日（木）～12 日（火）
▶表彰式（予定）／7 月 9 日（土）11 時～
▶勝毎電子版にて全作品を紹介／7 月 7 日（木）公開予定

主　催／おびひろ動物園、十勝毎日新聞社
後　援／帯広市教育委員会、帯広市教育研究会図工美術部会（予定）

＜参考記事＞　（左 2018 年 6 月、右 2019 年 7 月）

画用紙手にじっくり
おびひろ動物園で写生コン

「第44回おびひろ動物園動物画写生コンクール」が、お目当ての動物を探し16日、同動物園で開かれた。幼児から中学生まで240人が参加。絵の具やクレヨンを使い、好きな動物を画用紙に描いた。

同動物園と十勝毎日新聞社の主催。子どもたちは午前9時に集合。肌寒い天候だったが、元気に園内を回り、お目当ての動物を探した。

帯広市内の森田桃代さん（10）はキリンとシマウマの前に座り、「背中の毛を細かく描きたい」と真剣な表情でまなざしで観察。帯広第八中学校美術部の竹下鳳真さん（12）はカンガルーを見ながら「足の筋肉質などころがかっこいい。動くから描くのは難しいけれど」と話していた。

入賞作品は7月4～10日に、びあざフクハラ西帯広店（西23南3）に展示される。金、銀、銅賞を対象に、表彰式が同7日午後1時から会場で行われる。（細谷敦生）

真剣な表情で観察しながら動物を描く子どもたち

賞状を手にする金賞に輝いた子どもたち

感性豊かな動物画　入賞者を表彰

今年度の「おびひろ動物園動物画写生コンクール」（おびひろ動物園、十勝毎日新聞社主催）の表彰式が6日、帯広市内のびあざフクハラ西帯広店（西23南3）で開かれ、入賞者に賞状が贈られた。

応募作品2276点のうち、127点が入選した。

同店で行われた表彰式では金、銀、銅に輝いた入賞者に賞状と副賞が贈られ、勝毎光風社の氷田耕司社長、おびひろ動物園の柚原和敏園長、福原の宮崎雅浩販売促進企画室長があいさつ。審査員の西中ますみ教諭（帯広第八中）は「ダイナミックで目を引く作品が多く見られた。今後も美しい、面白いと思うものを描いてほしい」と講評した。

作品は同店で9日まで展示されている。（関井瞭）

第 45 回（2019 年度）勝毎電子版特設サイト（全作品紹介）

問合せ／十勝毎日新聞社営業局事業部（〒080-8688 帯広市東 1 条南 8 丁目 2）
TEL：0155-22-7555（平日 9 時～18 時）　担当：関井・三浦
メール：jigyo@kachimai.co.jp